講義科目名称: ボランティア論 授業コード: G3291 G5111

授業科目の区分等: 基礎教育科目 教養

開講期間		配当年	単位数	科目必選区分		
半期		1年	2	選択		
担当教員						
茂木 勇						
G (現代ビジネス学科)		L (基礎科目)		CS(地域)	103 (基礎・入門科目)	
授業のねらい (概 要)	・ボランテ 現代社する。 ・この授ると ・ 握上では	・ボランティアの語源はラテン語のボランタス(voluntas)とされ、その意味は"自由意志"です。 ・ボランティアの歴史や概念を把握し、様々なボランティア活動を知り、そこに従事する人々と接することは現代社会の多様性を理解するうえで役に立ちます。また、現代社会のボランティア活動に対する期待と学生に対する期待の双方を知っておくことで、今後の学生生活をより有意義に過ごすことにつながります。 ・この授業では、基礎的なテキストや各種の統計資料を用いて、①ボランティアの歴史・概念・活動領域を把握するとともに、②分野・テーマ別にボランティア活動を理解していきます。また、③ボランティア学習は机上では完結しません。実際にボランティア活動に従事して理解できることが多いことから、ボランティア活動の実践と、その活動発表を通して、理論と実践の両面からボランティアの理解に努めます。				
授業計画	第1回	①授業の内 ②ボランテ □予習(時	ィア論を学ぶ意う間):ボランティ	票、評価方法の説明 &。OCSとボランティア活動 ィアについて、自分なりのイメー: いらボランティア関連記事を抽出	ジを整理しておく(120) ・精読する(日課を推奨)(120)	
	第2回	①ボランテ ②統計資料 □予習(時		念・特徴の概説		
	第3回	《前半》ボラ 《後半》①自 ②ボ ③ト □予習(時	ンティア 4 原則/ 分のことを振りり ランティア情報り ラブル防止策(勢間):自分で興味	ア活動を知る 《後半》ボランティ6つの活動領域の説明/セルフラ 20 「自分史」の作成(概要説明) 又集(ボラ情報の提供窓口/インタ 3 表表の表では、活動するために) まのあるボランティア活動についまのある活動分野に即した「トラフ	チェック/自己分析心理テスト ターネット/新聞記事) て調べる(120)	
	第4回	・ 自分に 日本	史を作成する(ji ボランティア活動 互で、自身の活動 2020年度は割愛し わりに、活動計 間):自分史を作	ア活動を考え、2回分のボランテ 過去・現在・未来予想図) 助計画(内容・日程・目標等を盛か 助計画を説明し合い、活動計画をご します)	込む)を作成する ブラッシュアップする と将来目標を整理する(120)	
	第5回	・受講者でグ ワーク」を -活動テー □予習(時	行います。 マは、講師が授業 間):今日的な褚	ーク(1) て、社会的なテーマに着目した「;	おく (120)	
	第6回	・受講者でグ ワーク」を -第5回で選 □予習(時	ループに分かれて 行います。 選択した活動テー 間):グループ!	レープワーク(2) て、社会的なテーマに着目した「; マに基づいて、活動を行います。 フークメンバーと活動内容を協議 フークメンバーとともに、活動計i	しておく (120)	
	第7回	非営利団体(①NPO/NGO <i>0</i> □予習(時	NPO/NGO) とボラ D仕組み ②データ 間):報道されて		ィア活動の関係 ネットで調べる(120)	
	第8回	【課題】福祉 ・福祉分野の ・個別事例の □予習(時	分野のボランティ 抱える社会的な記 紹介 間):地域にある	ィア・NPO活動 果題とボランティアの必要性 5 福祉分野のボランティア・NPO活	-動事例を調べる(120)	
	第9回	環境分野のボ ・環境分野の ・個別事例の □予習(時	ランティア・NPO 抱える社会的な記 紹介 間):地域にある	果題とボランティアの必要性 5環境分野のボランティア・NP0活	-動事例を調べる(120)	
	第10回		間):環境分野の 分野のボランティ	の社会的な課題として思いつくもの ィア・NPO活動	かをまとめる (120)	

	the street man of the State of
	 ・教育・子育て分野の抱える社会的な課題とボランティアの必要性 ・個別事例の紹介 □予習 (時間) : 地域にある教育・子育て分野のボランティア・NPO活動事例を調べる (120)
	□復習 (時間) : 教育・子育て分野の社会的な課題として思いつくものをまとめる (120) 第11回 まちづくり分野のボランティア・NPO活動
	・まちづくり分野の抱える社会的な課題とボランティアの必要性 ・個別事例の紹介
	□予習(時間):地域にあるまちづくり分野のボランティア・NPO活動事例を調べる(120) □復習(時間):まちづくり分野の社会的な課題として思いつくものをまとめる(120)
	第12回 【課題】企業ボランティア(企業CSR)/地域課題を解決するビジネス(社会起業)の概要と事例紹介
	1-①企業CSRの概念・特徴 1-②事例紹介 2-①社会起業の概念・特徴
	2 ①社会起来の視念・特徴 2-②事例紹介 □予習(時間):企業CSRや社会起業の事例について、インターネットで調べる(120)
	□復習 (時間) : 企業がCSR活動を推進する理由や目的について、整理をしておく。 身の回りで社会起業として成り立つアイデアがないか検討する (120)
	第13回 グループワーク活動報告会(1) ・各自が実施したグループワーク活動の「成果」を発表してもらいます。
	第13回か第14回のいずれかで発表してください。 (※発表日・発表順・レポート提出方法の詳細については、事前に指示します)
	□予習(時間):ワークショップ発表用の準備をしておくこと(120) □復習(時間):他の学生の発表を聞いて、参考になった点を整理する(120)
	第14回 グループワーク活動報告会(2) ・各自が実施したグループワーク活動の「成果」を発表してもらいます。
	第13回か第14回のいずれかで発表してください (※発表日・発表順・レポート提出方法の詳細については、事前に指示します)
	□予習(時間):ワークショップ発表用の準備をしておくこと(120) □復習(時間):他の学生の発表を聞いて、参考になった点を整理する(120)
	第15回 講義のまとめ の## # dog の # 10
	①講義内容の振り返り ②豊かな地域社会に向けたボランティア活動のあるべき姿 □予習(時間):授業を振り返り、理解できたこと/分からないことを整理する(120)
	□復習(時間):今後ボランティア活動に参加するための心構えを整理する(120)
授業を通して身に 付けることができ る能力 (DP)	DP(現代ビジネス学科)の1項目を意識した内容になっています。 2. 豊富な社会経験を持ち、自ら地域と関わることができる能力を身に付けている 【身に付くスキル】 地域と関わる力・発信力
到達目標	①ボランティアの基礎知識やその社会的意義を理解し、説明できる。 ②ワークショップ活動の実践を通じて、「人と人のつながり」「地域社会」「自身の将来像」を再認識する。
	②ワークショップ活動の実践を通じて、「人と人のつながり」「地域社会」「自身の将来像」を再認識する。 ③授業内のワークショップを通して、「自ら行動する意欲」や「プレゼンテーション能力」を身につける。 ④NPO/NGO、企業CSR、社会起業等の類似概念を理解し、説明できることに加え、これからの地域社会のある べき姿について自身の意見を持つようになる。
課題や小テスト等 のフィードバック の方法	活動レポートにはコメントを付して返却します。 ワークショップ発表に対しては、個別に講評します。
履修上の注意	①前期中に、他の履修者とグループワーク活動(※内容は授業中に指示)を行っていただきます。 ②活動結果をレポート提出(※提出期限は別途指定)するとともに、授業中のワークショップで
	発表していただきます。 ③欠席(公欠を含む) 5 回で履修放棄として扱うので注意すること。
成績評価の方法・ 基準	到達目標①④:60% (定期試験、提出物、授業参加度で評価) 到達目標②③:40% (活動レポート、ワークショップ発表、授業参加度で評価)
教科書	
参考書・教材 備考	建节到口 / 中放中极早) z ト z 标类
1/III /5	講義科目/実務家教員による授業 2020年度は第6回、第8回、第12回を課題研究として学修する。 第6回・・・第5回で発足した「GWメンバー」で作業分担のうえ、各自で活動を進めます。
	対面授業のなかで作業の進め方や報告書式等を指示します。実作業全体で300分を想定。 第8回・・・福祉分野のボランティアの実例として、以下の映像作品を視聴するか、若しくは原作書籍を
	読了のうえレポートを提出します。レポート書式・提出期限等は事前に指示します。 実作業全体で400分を想定。 》映像:こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話 [DVD] (大泉洋・主演)
	》映像:こんな役更けにハナナかよ 愛しさ美話[DVD](人衆洋・王傳) 》書籍:「こんな夜更けにバナナかよ 愛しき実話」(文春文庫) 第12回・・企業CSR探訪と称して、将来、就職したい分野(または現時点で興味ある分野)の企業や団体の
	公式WEBページを閲覧し、当該企業・団体が取り組むCSR活動についてミニレポートを作成・提出します。レポート書式や提出期限等は対面授業で指示します。実作業全体で330分を想定。
教員との連絡方法	メール (アドレスは授業中にお知らせします)